

教授法・FDシリーズ7(通算374回)
 学生から教員への“直談判”と“対話力”

2007年3月22日(木)

ポスト「授業評価アンケート」としての 岡山大学の授業実践

～橋本メソッドを活用した学生参画型授業「大学授業改善論」の有効性～

特色GP「新基軸『学生参画』による教育改善システム」の具体的成果 / 授業評価アンケートの限界を超える挑戦
 一般学生の意識改革 / 「授業を受ける」から「授業を創る」という感覚へ / 学生の活動にスタッフ性を付与
 知的共同体における協働 / 教員からも寄せられる歓迎の声 / FD・SDの新段階 / 他大学からの高い関心

講師・報告者陣

橋本 勝 氏 / 岡山大学 教育開発センター カリキュラム研究開発部門長・教授
 中川 忠晃 氏 / 岡山大学 大学院社会文化科学研究科 助教授(法学部兼任)
 同前 賢 氏 / 岡山大学 経済学部 学生(3年生)

学生発案による正式授業科目「大学授業改善論」の狙い

今日では大半の大学で何らかの形で「学生による授業評価アンケート」が実施されるようになってきているが、同時に、その形式化、形骸化傾向に対し、批判の声も年々高まりつつある。学生の側からは「フィードバックの有効性」「回答負担」等の点で不満が寄せられ、教員の側からは「学生の回答の質」に関する不信感が根強く、職員や経営サイドからは対費用効果、対労力効果の点で疑問の声が強まっている。その一方で、「FDの義務化」の流れの中で、各大学は今さらこれを止めるわけにもいかず、それぞれどこか、問題点に目をつぶったまま拡充する傾向にあるといっても過言ではない。

岡山大学では、早くから「授業評価アンケート」の

限界を意識し、これを補うものとして、「アンケートに対する回答」という形に固執せず「受講生が当該教員に直接、話し合いに出向く」ことを内容とする学生発案授業を開講している。当初は衝撃的だった本実践も開講3年目を迎えて学内に定着し、アンケートとは別の形で一定の成果が見え始めている。

今回のセミナーでは、当初からこの問題と向き合い授業を担当している講師がこの実践事例の概要を説明するとともに、直接対話を経験した教員とこの授業を受けた受講生からの生の感想を加えつつ、三者に対する質疑の時間も十分確保して、本実践の他大学での実現可能性を探りたい。

橋本 勝 氏 プロフィール

1955年 石川県生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。京都教育大・立命館大・龍谷大等の非常勤講師を経て、1992年 岡山大学教育学部に経済学担当講師として着任。1995年 助教授に昇任。2003年より現職。2000年より(全学)FD専門委員。現在、FD専門委員会副委員長。学生・教職員教育改善委員会では一貫して教員側代表(副委員長)を務めている。

「大学授業改善論」シラバス(平成18年度岡山大学シラバスより)

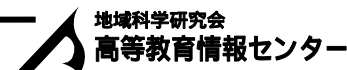
授業科目	大学授業改善論 seminar on Faculty Development by Hashimoto method	対象学生	全
授業の概要	実際に受講経験のある授業(本学で実際に開講中のもの)を題材とし、大学の授業改善を授業科目毎に具体的に考え、担当教員と直に交渉する。大学教育の現状と課題を学習した後、実際の提言内容の是非については受講生全体で検討する。授業方法として橋本メソッドを活用するため、単に説明を聞く授業ではなく、主体的に学習を進める参加型授業である。(橋本メソッドを含めた詳細については初回の講義時に説明する。)尚、この授業は、学生・教職員教育改善委員会の新授業提案WGの提案に基づき、平成16年度から開講しているもので、全国に例がない特殊な授業である。		
学習目標	冷静な分析力を高めるとともに、批判力・提案力を醸成する。また、授業を直視する事を通じて、大学における自らの学習計画を見直し、より有意義な学習・研究を意欲的に展開する契機とする。さらに橋本メソッドによる(潜在能力の発揮を含めた)討議・発表能力を高め、バランスのとれた社会的協調性と積極性を身につける。受講生全体から賛同・共感が得られたチームは担当教員と直に折衝することになるが、そこでは行動力・社会的交渉力・説得力を育む要素もある。		

協力 岡山大学教育開発センター

2007年3月22日(木)日本教育大学院大学 会議室(東京・麹町)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:20	<p>学生発案授業としての「大学授業改善論」 学生力 教育改善 教育開発センター教授 橋本 勝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生参画型教育改善の概要 (DVD17分) ・学ぶ場から共に考える場へ ・橋本メソッドとの結合 ・授業評価アンケートの限界の克服 ・直接対話による学生・教員双方の意識改革 ・「学びの主権者」としての学生
14:30 ~ 15:00	<p>学生からの“直談判”を受けて 大学院社会文化科学研究科助教授 中川 忠晃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突然のアポイントメール ・“直談判”の意義と有効性 ・学生たちに望むこと ・「大学授業改善論」に望むこと
15:00 ~ 15:20	<p>大学授業改善論を受講して 経済学部 3年生 同前 賢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“決行”を経験して ・大学における学生のあり方 ・「大学授業改善論」の一番の収穫 ・最終試験廃止論
15:20 ~ 16:40	<p>質疑応答・ディスカッション</p>

2007年3月22日(木) 13:00~16:40 日本教育大学院大学 会議室



会場：日本教育大学院大学 (東京・麹町)
東京都千代田区二番町 8-2
アクセス：地下鉄有楽町線「麹町駅」5番出口より徒歩2分
JR「市ヶ谷駅」「四ツ谷駅」より徒歩6分
<http://www.kyoiku-u.jp/shisetsu/access01.html>
会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。
参加費：A.ご一名(資料代込)
30,000円(消費税込)
B.メディア参加(資料・カセットテープ送付)
31,000円(送料、消費税込)
参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方が
都合の悪いときは代理の方がご出席ください。
新年度(4月)の振込でも構いません。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
FAXまたは郵送にてご送付ください。
支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
全ての口座名<(株)地域科学研究会>
ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。
申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
TEL:03(3234)1231/FAX:03(3234)4993
Mail:kkj@chiikikagaku-k.co.jp

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

教授法・FDシリーズ 7
ポスト「授業評価アンケート」としての岡山大学の授業実践 当日参加 2007年 月 日
メディア参加

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い) 必要書類〔 請求書 見積書〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。